

映画教材を用いた「地方創生」の授業づくり

―群馬県大泉町発まち映画「グラス★ホッパー」
及び「サンゴーヨン★サッカー」を事例に―

日下部 龍太

はじめに

近年、「地方創生」という用語がテレビや新聞をはじめとした各種メディアで取り上げられている。「地方創生」とは、人口急減・超高齢化など日本が直面する課題に対して、「まち・ひと・しごと」の好循環で魅力あふれる地方をつくることであり、政府は2014年9月3日に内閣府特命担当大臣（地方創生・国家戦略特別区域担当、以下地方創生担当大臣と記載）を設置した¹⁾。地方創生担当大臣は常設の役所を持たないが、前党幹事長の石破茂が初代担当大臣に任命されたことから安倍首相の目玉政策の一つとして指摘することができる。人口減少・超高齢化社会は、日本の一部地域だけではなく、日本全国に到来する。「地方創生」を学校教育に位置づけることは、地方に住む生徒だけではなく、都会に住む生徒を含めた日本全体の問題としても大きな意義を持っている。

では、「地方創生」は、現状の学校教育においてどのように位置付けられているであろうか。小学校低学年を対象とした現行の「生活」の学習指導要領では、「地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心をもち、地域のよさに気づき、愛着をもつ」ことが目標として掲げられている。しかし、これは「自分と身近な人々及び地域」という前提がつけられており、具体的な学習活動としては地域探検など地域を知ることが想定されることから「地方創生」を意図したものではない。一方、生活科と関連の

深い小学校から高等学校までの「総合的な学習の時間」の学習指導要領（小中高各段階の記載はほとんど同じ）では、「地域や学校、生徒」などに応じて、教科の枠にとどまらない「横断的・総合的な学習」を提案している。その他、中学校の学習指導要領社会の地理的分野では、「地域調査」などの「具体的な活動」を通して、「地理的事象」を考察及び表現する能力、さらには態度を育成することが目標として掲げられている。同じく中学校公民的分野の学習指導要領においても、「現代の社会的事象」に対して関心を高め、「多面的・多角的」に考察及び判断し、さらには表現する能力や態度の育成が目標として掲げられている。

「地方創生」は、現状の学校教育において「総合的な学習の時間」、中学校や高等学校における「地域調査」や「現代の社会的事象」のテーマとして位置づけることが可能である。「総合的な学習の時間」は、必ずしも統一的なカリキュラムが存在しないため、具体事例を示すことが難しい。一方、地理における「地域調査」は、現地調査などを意図しており、例えば東京書籍の中学校社会科地理の教科書では「身近な地域の調査」と題して静岡県静岡市の現地調査などを事例として挙げている²⁾。また、公民における「現代の社会的事象」は、同じく東京書籍の中学校社会科公民の教科書において「少子高齢化」と題し、長野県下條村の子育て支援などを事例として挙げている³⁾。しかし、これらは現状の実態や課題を提示するだけであり、「まち・

ひと・しごと」の好循環で魅力あふれる地方をつくるという「地方創生」の視点が欠けている。そのため、本論文においては、「地方創生」を生徒がより主体的に考える授業を提案したいと考え、「総合的な学習の時間」を授業化した。それは、地理や公民において現状の実態や課題を学習し、それを教科横断的に「地方創生」の視点から学習を深め、提案をしていくには学校や教師の裁量が大きい「総合的な学習の時間」が最も適切であると考えたからである。

1. 先行研究

「地方創生」をテーマとした論文は、2014年から2015年にかけて急増している。国立情報学研究所が公開している学術情報誌のデータベースである「CiNii」において、「地方創生」というキーワードを検索すると、2015年10月26日時点で847件が該当し、そのすべてが2014年または2015年の雑誌・論文等であった。ただ、これは近年注目されているというよりも、安倍政権特有の「晋三語（新造語）」であったためと考えられる。そのため、「地方創生」ではなく、より広く社会的に通用している「地域振興」を同サイトで検索してみると、同日で4451件が該当し、その内の268件のみが2014年または2015年の雑誌・論文等であった。なお、2012年は206件、2013年は168件の「地域振興」に関する雑誌・論文を確認できた。従来から「地方創生」や「地域振興」など一連の研究は重視されていたが、2014年以降に急増していることを指摘できる。ただ、847件の「地方創生」及び4451件の「地域振興」の内訳を確認すれば、そのほとんどが農業や観光などを含めた経済振興政策に関する雑誌・論文であり、小中高の学校教育で「地方創生」をどのように位置づけるかが主題となっているものは、岩田貢⁴⁾、高野誠二⁵⁾、渡辺研⁶⁾の研究をわずかに挙げられるのみである。ただ、これらの研究は、前述した地理や公民の現状の実態や課題の学習、あるい

は経済振興政策の研究という側面が強く、生徒が自ら「地方創生」という問題を考えて提案するという授業づくりはなされていない。そのため、本論文においては、生徒自らが自身の地元について考え、どのようにしたら「地方創生」の実現ができるかを各自で提案できるようにする授業を示したい。

2. 分析対象

小学校の生活科や社会科における地域調査は、地域探検や工場見学などが中心であり、小学校の「総合的な学習の時間」も同様に経験を重視する傾向が強い。このような小学校の経験を通して、中学校及び高等学校における「総合的な学習の時間」では、「地方創生」を生徒自身が考える授業づくりが可能である。本論文では、中学校を分析対象とするが、難易度やテーマの調整で高等学校への応用が可能である。すなわち、必ずしも中学校でしか実施できない授業形態ではない旨を事前に述べておきたい。ただ、一般的に公立中学校は公立高等学校よりも学区が小さく、生徒相互の生活環境も近いため、「地方創生」への主体的な問題意識を持ちやすいという特徴を持つであろう。

中学校の中でも本論文では、群馬県邑楽（おうら）郡大泉町の中学校を事例として取り上げたい。それは、大泉町が隣町の群馬県太田市との共同出資を得て制作した「グラス★ホッパー」（2013年11月公開、藤橋誠監督）及び大泉町の出資を得て制作した「サンゴーヨン★サッカー」（2015年2月公開、藤橋誠監督）のように生徒が身近に「地方創生」を考える資料が映画としてすでに提示されているからである。なお、「グラス★ホッパー」はラグビーの発展をテーマとしており、「サンゴーヨン★サッカー」はサッカーを通じた日本人とブラジル人の交流について描かれている。これらの映画は、出演者の多くが大泉町と太田市の両市町や群馬県内出身者であり、主人公も「グラス★ホッパー」

が小学校6年生、「サンゴーヨン★サッカー」が中学校3年生である。また、本論文が対象とする学校のすべてのクラスにこれらの映画に出演した生徒がおり、自身が出演している映画の鑑賞を避けたがる生徒への対応に注意は要するが、全体的には生徒が共感しやすい前提条件が整っている。また、「グラス★ホッパー」は両市町のすべての小中学校に無償配布されており、いずれは「サンゴーヨン★サッカー」も大泉町の小中学校に無償配布されるであろうことから、授業化に向けた学校や地域・家庭の協力も非常に得やすいと考えられる。本論文では、「グラス★ホッパー」と「サンゴーヨン★サッカー」という両映画教材を用いた中学校の「総合的な学習の時間」における「地方創生」の授業づくりを提案したいと考える。

3. 単元指導計画（生徒観・地域観・教材観）

（1）生徒観

本授業で対象となる生徒は、群馬県邑楽郡大泉町の公立中学校の1年生である。ただ、大泉町は隣町の群馬県太田市と人的・経済的なつながりが強く、太田市の中学校でも同様の授業展開が可能であると考えられる。対象クラスは、1年1組の32人であり、外国籍の生徒が5人を占めている。外国籍の生徒は、すべて同町の小学校を卒業しており、語学の指導などにおいては特別な指導を必要としない。ただ、家庭ではポルトガル語などで生活をしているケースが多く、日本語を話せない父母も存在する。そのため、母語が日本語ではない生徒も存在するということ意識した授業が大切になる。また、生徒の親の多くは官公庁、自営業または近隣の企業で働いており、遠方まで通勤をしているケースが少ない。経済力のある家庭が多く、海外旅行や遠方への旅行、塾などの習い事にお金を投資している。その他、ブラジルの影響を受けてサッカーが盛んであり、サッカーが男子に最も人気の部活動として挙げられる。また、ジャパナラ

グビー トップリーグ（サッカーのJ1に相当）に所属するパナソニックワイルドナイツの本拠地が隣町の太田市にあるためラグビーも盛んであり、大泉町内の群馬県立大泉高等学校には群馬県内で唯一の女子ラグビー部も存在している。

（2）地域観

大泉町の特徴を示すため、隣町の太田市を含めた人口や生産年齢人口などの統計を全国平均と対比させ、右の表1に示した。なお、表1は、2014年12月末または2015年1月1日時点における大泉町、太田市及び日本全国の統計である。

表1. 2014年末の大泉町・太田市・日本の人口

	大泉町	太田市	日本
総人口	41	222	127,917
外国人数	7	8	2,476
外国人の割合	約15.6%	約3.7%	約1.9%
生産年齢人口 (15～64歳) の割合	約66.4%	約62.0%	約61.2%

(人口単位千人, 筆者作成)⁷⁾

注1: 日本の総人口は日本人総数+在留外国人総数(労働者や留学生も含む)で算出。

注2: 大泉町及び太田市の外国人の割合及び生産年齢人口は百人以下の単位を含めて算出。

表1からは、大泉町の人口の約15.6%、隣町である太田市の人口の約3.7%が外国人であり、全国平均の約1.9%を大きく上回る外国人が両市町村に住んでいることが読み取れる。特に、大泉町は日常生活や学校生活などの多くの場面で日常的に外国人が存在しており、学校においても計算上はほとんどのクラスで外国籍の生徒が在籍する計算となる。また、生産年齢人口に注目すると、大泉町は全国平均を5.2%も上回っている。これは大泉町に占める外国人の割合が高いことも主因であるが、外国人を除いた

日本人だけの大泉町の生産年齢人口割合も約63.9%と全国平均を2.7%上回っている。大泉町は、生産年齢人口の割合が高く、少子高齢化の問題よりも外国人との共生が地域の主たるテーマとなっている。例えば、地域のブラジル系スーパーマーケットでは日本語が通じないなど生徒も外国人に対する経験が豊富である。

生徒の日常生活では、週末などに隣町の太田市にある2003年開店の大型ショッピングモールに出かけるケースが多い。「グラス★ホッパー」でも登場する太田駅前空洞化（駅前の総合スーパーの撤退が主要因）は、生徒と同年齢の大型ショッピングモールの発展との関連で生徒も理解しやすいテーマだと考えられる。なお、太田市及び大泉町は性風俗産業が盛んで犯罪率も高い⁸⁾。

その他、ブラジル人が多いことから大泉町ではサッカーが非常に盛んであり、生徒の多くも学校または地元のサッカーチームに所属している。これは同じくブラジル人が多く居住し、サッカー王国として著名な静岡県浜松市などとも共通している。大泉町の街中には、ポルトガル語の表示があふれており、ブラジル系スーパーマーケットなどのお店が軒を連ねるエリアも存在する。町内の公立図書館にもポルトガル語の書籍コーナーが存在する。ただし、ブラジル人居住地域は大企業が林立する街の西部に偏っており、街全体にブラジル人の影響が強いわけでもない。鉄道の駅ならば西小泉駅寄りにブラジル人が多く、東小泉駅寄りには必ずしもブラジル人が多くない。西部の一部地域に限定すれば、日本語を話せなくてもポルトガル語のみで居住することが可能な地域も存在する。その点において「サンゴーヨン★サッカー」でも主題となった日伯の共生は、大泉町における最重要テーマである。なお、スペイン語を母語とする中南米の出身者や中国人なども一部存在する。

外国人の占める割合が高いことから街全体には若者が多く、富士重工業やパナソニック（三

洋電機）などの大企業も林立している。大泉町と太田市は、2015年度時点において全国に59市町村（群馬県内では2市町）しか存在しない地方交付税交付金不交付団体であり⁹⁾、群馬県内にとどまらず、全国的に見ても経済水準は非常に高い。

太田市は、古代国家毛野の中心地であったため、東日本最大の古墳である太田天神山古墳（210m）などの歴史史跡が多数確認できる。その他、新田義貞の本拠地としても著名であり、博物館などの関連施設を訪問する観光客も一定数存在する。大泉町に観光客をひきつける歴史名所は存在しないが、サンバ・カーニバルやブラジル人街などの異国情緒を売りにして一定の観光客を集めている。特に、2014年はブラジルワールドカップ、2016年はリオデジャネイロのオリンピックと国家行事が立て続けにブラジルで開催されることもあり、日本国内でも大泉町への関心が高まりやすい環境にあると述べられよう。

生徒観と地域観を要約すれば、以下の7点を生徒や家庭や地域の特徴として挙げられる。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 一、外国籍の生徒の割合が高い。 二、地域密着の家庭が多く、経済力も高い。 三、サッカーやラグビーなどのスポーツが盛ん。 四、大泉町の主たるテーマは日伯の共生。 五、隣町の太田市と深いつながりがある。 六、犯罪率が高く、治安が悪いと思われがち。 七、大泉町はブラジルの異国情緒を売りにした観光誘致を行っている。 |
|--|

（3）教材観

単元計画で紹介される映画「グラス★ホッパー」（2013年11月公開）と「サンゴーヨン★サッカー」（2015年2月公開）は、前述の通り出演者の多くに本校の生徒が含まれている。映画の舞台も地元であり、非常に親近感を覚えやすい教材であるが、一方で生徒の一部からはすでに鑑賞したことがあるなどの理由で反発が予

想される。その他、自身が出演する映画を同級生と鑑賞することに対する反発も予想される。そのため、映画鑑賞は学年一斉に体育館で実施することとする。映画を普段の授業と異なる状況で鑑賞することで、学年全体の課題であることを強く印象付けるとともに、クラスの垣根を越えた生徒及び教師の交流を行いやすくさせる。

単元指導計画及び本時の学習指導案の一部を先取りすれば、生徒に映画監督になってもらう。大泉町には「どのような問題」があり、「どのような方法」で解決させることが可能かを生徒に徹底的に追及させる。「グラス★ホッパー」はラグビーの発展、「サンゴーヨン★サッカー」はサッカーを通じた日伯の交流が主要なテーマだが、続編を製作するとしたら何をテーマにするかを生徒に考えてもらう。また、単に考えてもらうだけではなく、監督やディレクターに生徒の提案を伝えることとする。一連の授業を通して、中学生でも社会に提案が可能であるということを自覚させると同時に、「地方創生」を真剣に考えさせたい。

4. 単元指導計画(単元テーマ・目標・指導計画)

(1) 単元テーマ

本単元は、群馬県邑楽郡大泉町の中学校1年生の「総合的な学習の時間」を対象に作成した「大泉町の地方創生」の授業である。ただし、同大泉町の中学2、3年生や高校生、または隣町で経済的につながりの強い群馬県太田市での応用も可能であると考えて作成している。

(2) 単元目標

- ① 大泉町の人口・気候・歴史・産業・観光などを調査し、町に対する関心を深める。
- ② 大泉町に関する調査を通して、町が直面している課題について批判的に考える。
- ③ 大泉町が直面している課題の自分なりの解決方法(「地方創生」案)をまとめられる。

- ④ 大泉町の魅力または欠点を映画で表現できる。

(3) 単元指導計画

本論文では全11単元構成の授業において「大泉町の地方創生」の授業づくりの鍵となる「5. 発表課題作成」を学習指導案として提示する。

単元	学習内容	教師の解説・発問、生徒の返答・対応	指導上の留意点、その他
1. 映画①鑑賞(1時間)	5W1Hに注目した映画鑑賞	T. いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どのような方法で撮影しているか? S. プリント回答。	体育館。 1回目の鑑賞時に5W1Hに注目したプリントを配布。
2. 情報検索(1時間)	いつ? どこで? 誰が? 何を? なぜ? どのようにして?	T. 撮影はいつか? T. 撮影はどこか? T. 俳優は何者か? T. テーマは何か? T. 撮影の目的は? T. 映画の工夫は?(場所、出来事、出演者など) S. プリント回答。	パソコン室。 「映画①」の背景となる情報をパソコン室で検索する。 単元1の5W1Hをさらに深める。
3. グループ討論(1時間)	大泉町の特徴	T. あなたの見た大泉町とは? S. 大企業のお膝元、ブラジリアンタウン、ブラジル商店の閉店など。 S. グループ討論。	机間指導。 グループにA3用紙配布。 課題作成方法を示したプリント配布。

単元	学習内容	教師の解説・発問、生徒の返答・対応	指導上の留意点、その他
4. 現地調査 (0時間)	大泉町の課題の発見・克服	T. あなたが映画監督ならば何を描くか? 何かの一分野で大泉町の「地方創生」を実現してください。 S. 現地調査。	宿題。 現地調査の実施を証明する写真撮影。
5. 発表課題作成 (2時間)	発表用の課題作成	T. いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どのような方法で映画を作成するか? その他、独自の項目立ても歓迎する。 S. 課題作成。	机間指導。 生徒は「いつ」「どこで」などをそれぞれ担当する。
6. 発表練習 (1時間)	発表練習	T. グループのメンバーと発表練習、質問への対応準備をしてください。 S. 発表練習。	机間指導。
6. 発表会 (2時間)	発表 1人2分を目安に全員が発表を担当。	T. 全グループ発表発表各8分+質問各4分。 S. 発表及び質問対応。 S. 評価用紙記入。	各グループは男女2人ずつの4人で、計8グループ。 評価用紙を配布。
7. 映画②鑑賞 (1時間)	共生社会の実現に注目した映画鑑賞	T. 大泉町で共生を困難にする障害は何か?	体育館。 1回目の鑑賞時に日伯共生に注目したプリントを配布。

8. 情報検索 (1時間)	大泉町以外の共生	T. 大泉町以外の共生問題は? S. 横浜中華街、浜松市のブラジリアンタウンなど。 S. プリント回答。	パソコン室。 大泉町以外の外国コミュニティに関するプリント配布。
9. 事前学習 (1時間)	大泉町以外の共生問題	T. 大泉町以外の共生問題について考えてみよう。 S. 個人作業。	図書室。 大泉町立図書館へ60冊程度の共生問題に関する資料貸し出し依頼。
10. 夏休み課題 (0時間)	大泉町以外の共生問題の課題作成	T. 大泉町以外の共生問題を調査し、他の地方の取り組みを大泉町でも生かした「地方創生」について言及してください。 S. 課題作成。	課題作成方法及び発表日などを示したプリント配布。
11. 発表会 (3時間)	発表 1人4分を目安に全員が発表。	T. 全員各4分 S. 発表。 S. 評価用紙記入。	評価用紙を配布。

注1. 「映画鑑賞①」と「映画鑑賞②」は「特別活動」の授業時数を利用する。

注2. 「映画①」は「グラス★ホッパー」, 「映画②」は「サンゴーヨン★サッカー」を指す。

5. 本時の学習指導案の提案

(1) 本時の目標

「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「なぜ」「どのような方法で」に注目し、大泉町の課題を克服した「地方創生」の映画づくりを提案する。また、他者に自身の考えを上手く伝えるにはどうしたらよいかという表現能力を育成する。

(2) 本時の学習指導計画

対象：1年1組。男子16，女子16，合計32人

日時：2015年7月1日（水）9:35～10:25

場所：教室

テーマ：「大泉町の地方創生」の「5. 発表課題作成」の1時間目（「総合的な学習の時間」）

単元	学習内容	教師の解説・発問，生徒の返答・対応	指導上の留意点，その他
導入（大泉町の課題5W1H）8分	5W1Hの復習	T. 大泉町にはどのような課題がありましたか？ S. 観光客が少ない，犯罪率が群馬県内35の市町村で最多など。 T. その課題を映画で克服するには <u>いつ</u> をテーマにしたらいですか？ S. 現在，ブラジル人労働者増加前の時代，戦前など。 T. その映画は大泉町の <u>どこ</u> が舞台になりますか？ S. ブラジル系スーパーマーケット，富士重工業の工場など。 T. その映画は <u>誰</u> が演じたらいでしょうか？	最初に生徒から出てきた課題で5W1Hをすべて説明するが，他の例も補足する。

導入（大泉町の課題5W1H）8分の続き		S. 地元の小学生，ぐんまちゃんなど。 T. その映画は <u>何が</u> テーマですか？ S. 自動車産業，ブラジルの景気など。 T. それらを選んだのは <u>なぜ</u> ですか？ S. 日本全国の注目を集めるためなど。 T. その映画の工夫はありますか？ S. AKAGIDAN（地元アイドル）を活用して男性をターゲットなど。	
	展開①（プリント作成）30分	<u>プリント作成</u> 5W1Hは最低限の内容であり，その先の段階に到達できるように発問実施。 T.（机間指導で）「いつ」「どこで」など導入と同様の質問を生徒に行う。 S. 導入と同じ返答。 T.（机間指導で）映画製作の予算獲得方法は？ S. 大泉町，町民の寄付など。	机間指導。 回収していたA3用紙配布。 予算は？

単元	学習内容	教師の解説・発問、生徒の返答・対応	指導上の留意点、その他
展開② (質問対応) 10分	質問対応の対策 想定される問答集を用意させる。	T. グループで考えている映画は人気が出るか？ S. ぐんまちゃん効果で人気期待できるなど。 T. (机間指導で) その映画の続編を出すとしたら、どんな映画が考えられるか？ S. 富士重工業の次は富士重工業の子会社など。 T. (机間指導で) 嵐を俳優に用いるとあるが、どうやって連れてくるのか？ S. 櫻井翔は群馬県出身であり、手紙を送り続けるなど。 T. (机間指導で) 古墳の発掘調査を映画化するとあるが、実施できなかったらどうするか？ S. 発掘以外の調査を映画化するなど。 T. どこが「大泉町の地方創生」か？	人気は？ 続編は？ 現実的か？ 代替案は？ 「地方創生」か？

展開②		S. 大泉町のゆるキャラを作成して観光客を呼ぶ。	
まとめ 2分	まとめ 後片付け	T. 次回の発表に関して伝達し、完成したプリントを回収。	プリント回収。

なお、「5. 発表課題作成」の2時間目は、本指導案の「展開① (プリント作成)」を中心に再度実施し、「6. 発表練習」は「展開② (質問対応)」及びメンバーの読み合わせを中心に実施する。

終章

本論文では、映画教材を用いた「地域創生」の授業づくりを提案した。本単元は全11単元構成であり、映画鑑賞の後に、パソコン室で1時間をかけて再度5W1Hを中心とした映画づくりの工夫などの背景を学習させる。そして、大泉町の課題について1時間のグループ討論を実施させ、グループによる生徒各自の地域調査につなげる。その成果をもとにして発表課題作成及び発表練習を実施し、最後に発表会につなげる。このような過程を経て生徒は大泉町の課題を知り、「地方創生」の提案につなげられる。

また、本時の指導案では提示できなかったが、単元指導計画の「7. 映画②鑑賞」から「11. 発表会」において大泉町に限定しない他地域への応用化を試みている。ブラジル総領事館が設けられ、同じくブラジル人が多く居住する静岡県浜松市などでも大泉町と同様な授業の実施が考えられるであろうし、日本全国の中華街やコリアンタウン、さらには東京都江戸川区西葛西のインド人街の周辺などでも応用が可能であろう。地元限定せずとも条件に近い地域(桜の名所弘前と松本、離島の与那国島と波照間島など)のどちらかを舞台とした映画・小

説・漫画などを他方で応用して使用することも可能であろう。すなわち、地域の特徴に応じた対応が可能である。本論文を端緒として、「地方創生」の授業開発が進展することを祈願し、本論文の結びとしたい。

[注]

- 1) 同日に「まち・ひと・しごと創生本部」(地方創生本部)も設置され、本部長に安倍晋三首相、副本部長に石破茂地方創生担当大臣と菅義偉官房長官が就任した。本論文における「地方創生」の定義も「まち・ひと・しごと創生本部」の取り組みを参考としている。詳細は、http://www.kantei.go.jp/jp/headline/chihou_sousei/ (首相官邸ホームページ内「まち・ひと・しごと創生本部」, 最終閲覧日2015年8月27日)。
- 2) 『新しい社会 地理』(東京書籍, 2014年, 233-249頁)。
- 3) 『新しい社会 公民』(東京書籍, 2013年, 12-13頁)。
- 4) 岩田貢「離島地域の中学校における地域学習の現状—長崎県対馬市を事例として—」(『龍谷紀要』, 31号(1), 2009年9月, 167-180頁)。
- 5) 高野誠二「廃線・廃道・旧道の探索がもたらす地域振興と地理教育における効果と問題点」(『東海大学経営学部紀要』第2号, 2015年3月, 15-26頁)。
- 6) 渡辺研「【特集】地方創生 このまちで、子どもを育てたい@藤枝市—「教育日本一」を目指す藤枝市の教育環境とは—」(学研教育みらい, 『教育ジャーナル』, 2015年7月), 渡辺研「【特集】地方創生 このまちで、子どもを育てたい@前橋市—「県都前橋市 教育のまち」実現を目指して—」(学研教育みらい, 『教育ジャーナル』, 2015年8月)。
- 7) 「総務省統計局」ホームページ内の

- ①『国籍・地域別 在留資格(在留目的)別 総在留外国人(2014年12月末)』
- ②『国籍・地域別 年齢・男女別 総在留外国人(2014年12月末)』
(①, ②はともに<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?lid=000001133760>)
- ③『「全国:年齢(5歳階級),男女別人口」及び「(参考表)全国人口の推移」(平成27年1月確定値)
(<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/2.htm#monthly>)
また、「群馬県総務部市町村課行政係」ホームページ内の
- ④『【日本人】市町村,男女,年齢5歳階級別人口(平成27年1月1日現在)』
- ⑤『【外国人】市町村,男女,年齢5歳階級別人口(平成27年1月1日現在)』
(④, ⑤はともに<http://toukei.pref.gunma.jp/brr/index.html>)
(すべて2015年9月1日最終閲覧)の5つの統計から作成。
- 8) 2012年度のデータで大泉町は群馬県内35市町村の中で最大の犯罪率(1000人当たり15.4件),太田市も第4位の犯罪率(同13.0件)を誇っている。第2位の邑楽郡千代田町(大泉町の隣町,同14.8件),第3位の伊勢崎市(太田市の隣町,同13.5件)を含め,すべて外国人の人口割合の高い地域が犯罪率も高くなっている。なお,群馬県の平均は同10.2件。犯罪率の詳細は,<https://www.police.pref.gunma.jp/seianbu/01seiki/hanzaihassei/date/hassei16.pdf> (群馬県警ホームページ内「県民局別・市町村別人口1,000人当たりの犯罪発生状況」,最終閲覧日2015年9月1日)のホームページを参照。
- 9) 総務省報道資料「平成27年度普通交付税の算定結果等」のホームページを参照
(http://www.soumu.go.jp/main_content/000369975.pdf, 2015年8月30日最終閲覧)。